

半導体漫遊記

湯之上隆

109

ころだ。

このような事情は中田先生が解説されたが、私は、シャープが転落する予兆が10年以上前からあったことを上前からあったことを説明した。

最初の予兆は04年に「シャープが転落する予兆が10年以上前からあったことを説明した。」

競争力ともに日本が圧倒的だ。DRAMとはまったく事情が違う」と自信満々の答えが返ってきた。

ところが次に「営業利益率をみると、サムエス電子は常に約30%なのに、なぜ、シャープは、07年の夏だったの？」と聞くと、「液晶ディスプレイは大丈夫ですか。テレビは大丈夫ですか。営業利益率が低い理由が分からないという独占されていた。シャープの世界シェアの上位」

「BSフジ プライムニュース」で、「シャープ苦境」を扱った。資本金1億円になると中小企業として扱われ、外形標準さかのぼる。日立から

「シャープが転落する予兆が10年以上前からあったことを説明した。」

最初の予兆は04年に「シャープが転落する予兆が10年以上前からあったことを説明した。」

競争力ともに日本が圧倒的だ。DRAMとはまったく事情が違う」と自信満々の答えが返ってきた。

ところが次に「営業利益率をみると、サムエス電子は常に約30%なのに、なぜ、シャープは、07年の夏だったの？」と聞くと、「液晶ディスプレイは大丈夫ですか。テレビは大丈夫ですか。営業利益率が低い理由が分からないという独占されていた。シャープの世界シェアの上位」

シャープ経営危機の真相

転落の予兆は04年から

は立命館アジア太平洋大学教授の中田行彦氏、そして日立出身の私の3人だった。

シャープは2014年度の決算で2223億円の赤字となり、高橋興三社長は、資本金1218億円を1億円に減資して損失の穴埋めに充てるという奇策

準課税を免れるなどの優遇措置があるから。ところが、いくらなんでも、売上高3兆円、社員5万人の企業でそれはないだろうと異論が出たため、5億円の減資にとどまった。私としては、あまりテレビは大丈夫ですか。営業利益率が低い理由が分からないという独占されていた。シャープの世界シェアの上位



『BSフジプライムニュース』で「私の提言」を行う筆者(2015年6月2日)

ともてはやされたころである。しかし、その実態は、「日本だけの亀山モデル」だったのである。

結局、シャープの問題は、①技術に自信があるがコスト意識が希薄②世界シェアが低く真のグローバル企業になれていない③技術、国内外のマーケット、製品の原価構造などを総合的に踏まえた経営ができていない、ということに集約される。

「私の提言」は、サムスンやLGなどの方におかれて埃を被っていた。私はこのおめで、シャープのシェアは10%にも満たない。りさまにショックを受けた。

実際、デジタルテレビが液晶AQUOSで「世界の亀山モデル」

「私の提言」は、サムスンやLGなどの方におかれて埃を被っていた。私はこのおめで、シャープのシェアは10%にも満たない。りさまにショックを受けた。

実際、デジタルテレビが液晶AQUOSで「世界の亀山モデル」

「私の提言」は、サムスンやLGなどの方におかれて埃を被っていた。私はこのおめで、シャープのシェアは10%にも満たない。りさまにショックを受けた。

実際、デジタルテレビが液晶AQUOSで「世界の亀山モデル」